

平成 28 年 10 月 12 日
商 工 中 金

商工中金が地域金融機関等と協調し、東洋精鋼株式会社の 航空機部品用ショットピーニング設備の導入を金融面からサポート！

商工中金は、各地の地方公共団体や関係機関、地域金融機関等と連携しながら、「地域経済の活性化」や「地域雇用の創造」に貢献する中小企業等を積極的にサポートしています。

商工中金（名古屋支店）は、東洋精鋼株式会社（本社：愛知県弥富市、代表者：渡邊 吉弘氏）に対し、みずほ銀行、百五銀行、愛知銀行、名古屋銀行と協調して、航空機部品のショットピーニング加工を効率的に行うための機械設備導入に必要な資金として総額3億5千万円を融資しました（うち商工中金1億5千万円）。

東洋精鋼株式会社は、自動車や航空機部品の強度向上に欠かせないショットピーニングと呼ばれる加工において必要なショット粒（金属粒）の製造をメインに、ショットピーニングの受託加工等も行っています。ショット粒の製造においては、圧倒的な国内シェアを誇り、世界シェアでも約3割を占めています。

同社は、国産ジェット旅客機などの部品の共同生産を行う航空機部品生産協同組合の組合員として、機体部品のショットピーニング加工を担うため、今回、共同工場内に効率的な加工ができる最新鋭設備の導入を計画しました。

商工中金は、本事業が国の「アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」の推進に資することから、「総合特区支援利子補給制度(※)」(補給率0.7%以内、5年間)の申請書作成のサポートを行うとともに、同利子補給制度を活用して、機械設備の導入に必要な資金を地域金融機関等と協調して融資しました。

商工中金は、公的金融機関で唯一のフルバンキング機能を有する機関として、地方公共団体や関係機関等と連携しながら、地域経済の活性化に貢献してまいります。

(※)「総合特区支援利子補給制度」

総合特区の推進に資する事業を行う方が、国の指定を受けた金融機関から必要な資金を借り入れる場合に、国が当該金融機関に利子補給金を支給するもの。

【東洋精鋼株式会社の概要】

| | | | |
|-----|----------------------|------|----------------------|
| 所在地 | 愛知県弥富市馬ヶ地 3-195-1 | 資本金 | 25 百万円 |
| 代表者 | 渡邊 吉弘 | 従業員数 | 62 名 (平成 28 年 9 月現在) |
| 業種 | ショットピーニング用ショット粒の製造販売 | 設立 | 昭和 50 年 2 月 |